



※学校だよりのタイトル『羽ばたく』は、甲府市出身の宮沢和史さんに作詞作曲していただいた、舞鶴小学校の校歌の歌詞の一節です。「ふるさとを愛し、羽ばたく子に」になって欲しいとの願いをこめてタイトルとしました。

## ふるさとを愛し、羽ばたく子に

令和2年度1学期の臨時休業から始まり、毎朝の健康確認、令和3年度末の分散登校やオンライン授業など、新型コロナウイルス感染症への対応に追われた3年間でした。「与えられた条件の中、最善を尽くす」ことを考え、修学旅行や運動会、「まいづるまつり」などに取り組んで参りました。厳しい日々が続きましたが、1年生の男の子から「校長先生、お出かけになるのですか？」と笑顔で話しかけられたとき、朝の検温で「ありがとうございます。」と丁寧な口調であいさつをされたとき、子ども達が見せてくれた綺麗な瞳と笑顔が支えとなりました。

これまで、そしてこれからも、今を精一杯生きる子ども達を最後まで応援していきたいと思います。ここまでくることが出来たのも、保護者や地域の皆様のおかげだと感謝しております。この場をお借りして、改めましてお礼申し上げます。来年度も、「ふるさとを愛し、羽ばたく子」のために、引き続き本校の教育へのご理解とご協力をお願いし、最終号を締めくくりたいと思います。少し早いですが、これまでのご愛読をありがとうございました。

### 6年生を送る会

新児童会を中心に6年生を送る会が4年生まではオンラインで行われました。花のアーチに迎えられた6年生は、入場後、小学校生活の思い出や将来の夢を語って自己紹介としました。「友達と過ごした時間が楽しかった、修学旅行が楽しかった、大変だったけれど児童会活動ができて良かった。」などの思い出や「将来は、看護の仕事に就きたい、ダンスの力をつけたい。」などの夢を一人一人がしっかりと発表していました。

その後、各学級から6年生の思い出や感謝の言葉の発表がありました。短い時間でしたが、呼びかけや出し物など、学級ごとに工夫されていて、6年生は「6年生に感謝する」在校生の気持ちを受け取ってくれたことと思います。縦割り班でつくったメッセージをプレゼントとして6年生に手渡して退場となりました。卒業を機に違う学校に進学する子もいます。58名が揃って学校生活を送るのも残り僅かな日数となりました。

「一期一会」の諺の通り、舞鶴小学校という学び舎で共に過ごした仲間、そして在校生との出会いは偶然なのでしょうが、ここまで自分を育ててくれたかけがえのない「必然」として心の中に大切にしまって胸を張って「羽ばたいて」って欲しいと思いました。

「6年生を送る会」を企画・運営してくれた新児童会の皆さん、体育館の飾り付けや案内、アーチなど計画的に準備してくれた在校生の皆さん、そして最高学年としての姿勢を見せてくれた6年生の皆さん、舞鶴小学校の全ての子ども達が創り上げた素敵な「6年生を送る会」でした。



### 今年度最後の授業参観

今年度を締めくくる授業参観は、4～6年生は体育館で学年の保護者を前にして1/2成人式や保護者への感謝する会等を、1～3年生は教室の授業を教室と特別教室にいる保護者に参観していただくことになりました。感染レベルの変更はなく、教室で授業を行う



学年は、全ての保護者を教室に入れると密になるので、学級の保護者を1/3ずつに分けて、それぞれ15分間、お子さんの様子を参観していただきました。短い時間の参観でしたが、ご家庭でも子ども達の成長を促す声かけをお願いしたいと思います。

## あいさつ・見守りをありがとうございました



今年度最後の「地域連携あいさつ運動」を行いました。今回も保護者のみならず連合自治会長さんを始めとして地区保護司さんなど地域の方も含め、3日間でのべ22名の方に参加していただきました。これからも「あいさつ運動」を通して、地域の方から自分たちは見守られているという気持ちと「ふるさと舞鶴」を愛する気持ちを育んでいきたいと思えます。今年度も、子ども達の安全・安心を支えてくださっていた皆様へ、子ども達から感謝の寄せ書きを贈らせていただきます。組回覧されるとお思いますので、ご一読いただければ幸いです。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。



## 新入学児童保護者説明会

コロナウィルスの第8波が押し寄せて来ていましたが、今年度の新入児保護者説明会は、感染対応をしっかりと行い、通常通りの開催としました。入学までに準備することや入学式の案内などをお伝えし、終了後には下校方面ごとに「お迎え」をお願いするために当番表を作成していただきました。また、物品販売や小学校生活の様子についてスライド等を通してお伝えすることもできました。来年度は、マスクの着用や感染症の分類も見直されるようですが、子ども達にとって良い形で進んでくれると良いと思えます。



## ある雪の日に

道路に雪が積もるのは久しぶりだと思いながら出張から帰ってくると、校庭では子ども達が元気に「雪合戦」をしていたり「雪だるま」をつくったりしていました。その後は気温が緩んだため、校庭の雪はすっかり溶けて無くなってしまいましたが、雪の中で遊ぶ子ども達の笑顔は、大人と違って輝いていました。そういえば、雪が降るとワクワクした気持ちになったのが、いつの間「雪が降ると大変だ」と思うようになったのか、と思えました。「雪が降ると…」皆さんはいかがですか？



## 賞状伝達

子ども達は、2学期から3学期にかけて図画大会・音楽創作力比べ・書き初め大会・児童画コンクール・税に関する習字等に取り組み、素晴らしい作品を仕上げたため、主催者側から「賞状」が送られてきました。また、舞鶴小学校を代表して素晴らしい行いをした子に「なでしこ賞」が贈られました。



賞状を受け取った子ども達はもちろん素晴らしいのですが、賞状を受け取る順に低学年の子を並べる子、放送機器を慣れた手つきで操る子、一人一人が自分のすべき仕事として理解し、自ら進んで活動していた放送委員会の子ども達の活躍も素晴らしいかったです。

子ども達の可能性は無限だと思いつつ、音楽でも芸術でも仕事でも、様々なことに取り組みで自分の可能性を伸ばして行って欲しいと思えます。

## P T A活動をありがとうございました

P T A学校委員会では、各学年や全体での取り組みを評価し次年度に申し送るとともに、その後の新旧本役員会では役員選出方法等、P T A活動のあり方について話し合われました。現役員の皆様をはじめ保護者の皆様、今年も大変な1年でしたが、P T A活動へのご協力をありがとうございました。そして、「全ては子ども達の笑顔のために」新役員の皆様には来年度のP T A活動をよろしくお願います。

昨年度の情報活動部の皆様の努力の成果として、本校のP T A新聞「まいづる令和3年度特別増大号」が県Pの奨励賞だけでなく、なんと「全国小中学校P T A広報紙コンクール」で奨励賞を受賞しました。素晴らしい快挙です。コロナ禍の中でしたが、積極的に取り組んでいただき、ありがとうございました。

